

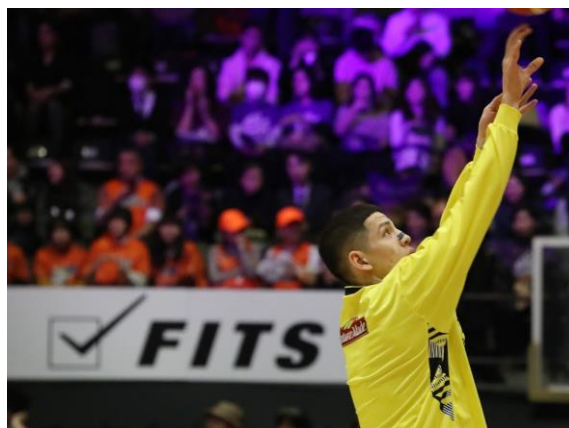
サンロッカーズ渋谷「SHIBUYA SHOOTOUT 2019」 セントテーピング着用選手が大活躍！

株式会社フィッツコーポレーション（東京都港区、代表取締役：富樫康博）が立ち上げた、スポーツフレグランスブランド「FITS SPORTS（フィッツスポーツ）」がオフィシャルスポンサーを務めるプロバスケットボールチーム「サンロッカーズ渋谷」。

昨年3月6日（火）一般社団法人日本記念日協会より、3月6日を「サンロッカーズの日」と認定されたことを受け、3月の試合を特別な月とし「SHIBUYA SHOOTOUT」と称して試合が開催されました。

今シーズンの「SHIBUYA SHOOTOUT 2019」は、3月8日（金）、9日（土）vs 新潟アルビレックス BB 戦。さまざまなイベントが行われた中、フィッツコーポレーションは、フィッツスポーツの香り付鼻腔拡張テープ「セントテーピング」を来場者全員にプレゼントし、セントテーピングを着用して試合を一緒に盛り上げました。

この日の試合では、満原選手、秋葉選手、ペンドラメ選手、伊藤選手、盛實選手と、多くの選手がセントテーピングをつけて活躍しました。



試合結果

vs 新潟アルビレックス BB

SR 渋谷 84-72 新潟

1Q25-26

2Q20-12

3Q20-15

4Q19-19

新潟に先制を許すも、山内、レオと3Pを決めすぐにリードを奪い返す。ケリーが果敢にアタックするなどリズムよく得点を重ねるも新潟ガードナーの攻撃を止められずバスケットカウントを含む13得点をマークされ、逆転を許し1Qを終える。

2Q24秒バイオレーションを奪う堅いディフェンスで相手を抑え、杉浦の3P、ケリーがバスケットカウントを成功させるなどこのQで11得点の活躍を見せリードを奪う。

3Q得点が停滞する時間帯が続き、一進一退の攻防となる。ケリーがミドルレンジ、ドライブと決め、また広瀬がスティールでチームを勢い付け再び流れを作る。ラストプレー盛實のステップバック3Pがクロックと共に決まり12点差と引き離しに成功。

最終Q序盤から杉浦が果敢にアタックし、レオの3Pが決まるなど得点を重ねる。新潟ガードナーを中心に猛攻を受けるも、サクレがインサイドで攻守ともに奮闘し、残り時間1分切ったところで試合を決定づけるバスカン決め、ホーム2連勝を飾った。

セントテーピング着用選手種類

- 0 満原 優樹選手：セントテーピング エキストラフォーカス（ネイビー）
- 2 秋葉 真司選手：セントテーピング エキストラフォーカス（ネイビー）
- 7 伊藤 駿選手：エキストラリラックス（イエロー）
- 9 ベンドラメ礼生選手：セントテーピング エキストラフォーカス（ネイビー）
- 44 盛實 海翔選手：セントテーピング エキストラフォーカス（ネイビー）

